

## アートフェア東京 2016 クロージングレポート

アートフェア東京 2016 は、新たな 10 年に向け「Art is a lifestyle」をテーマに、テレビ東京との共同主催という新たな体制で開催を迎えました。

過去最多の 157 ギャラリー（国内 138 ギャラリー、海外 19 ギャラリー）が出展し、東京で開催する日本最大級のアートフェアとしてふさわしい盛大なイベントとなりました。メインビジュアルも、一人ひとり違うライフスタイルの多様性を「彩」に、そこから放たれる「光」をラインで表現したデザインで、東京の文化的個性を国内外に発信する機会となる願いが込められました。

入場者数：56,300 人（昨年対比 102%）  
 （過去最多：2015 年 54,850 人）  
 開催期間：2016 年 5 月 11 日(水) - 5 月 14 日(土)

出展ギャラリー：157 軒  
 出展企業：10 軒  
 参加大使館等：20 カ国

総売上金額：約 11.3 億円  
 ※出展者アンケート(任意)より推計

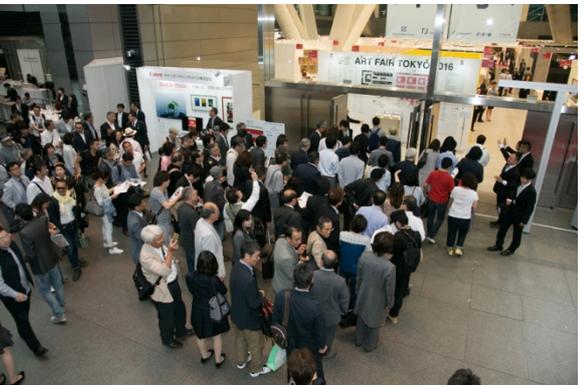


昨年と比較して来場者の多い休日開催が一日少なかったにもかかわらず、効果的な広報活動を行うことで入場者数を増加させることができました。



## [1] プレビューとオープニングセレモニー、レセプション

アートフェア東京 2016 は、5月11日(水)にファーストチョイス/オープニングプレビューを設け、華やかなオープニングセレモニーを催しました。オープニングセレモニーとレセプションには、安倍昭恵総理大臣夫人、木原外務副大臣、鈴木経済産業副大臣、田村観光庁長官、宮田文化庁長官、近衛忠輝日本赤十字社社長、米国・スペイン各国大使を始め大使館の方々にもご臨席頂きました。



## [2] 100KIN

2015年より「美術品」の減価償却の対象金額が改正されたことを受けた、特別展示「100KIN」。法人は購入した作品を8年間、もしくは15年間で帳簿価格100万円まで計上可能となりました。文化庁宮田長官の御挨拶、御支援を頂き、各メディアからの取材も多く、法律改正の周知にも繋がりました。100KINエリア内へは、4日間で約23,000人のお客様が訪れました。



## [3] アーティスティック・プラクティス「Face Up!」

2011年より毎年開催されている特別企画部門、アーティスティック・プラクティス。サウスウィングの13のギャラリーが参加し、一般社団法人アート東京キュレーター、小澤慶介のディレクションにより『Face Up!』と題し、各ギャラリーから1作品ずつ、主に人物を表した作品を展示しました。この企画に向け、4ギャラリーから新作が展示され、会期中の全てのガイドツアーが立ち寄り、現代アートセクションの目玉の一つにもなりました。



#### [4] PROJECTS

---

若手アーティストのソロショーとして新たな展開を行なった PROJECTS は、テーマを「Don't feel, THINK」とし、一人ひとりの作家を取上げその作品をじっくりと鑑賞できるようにしました。

#### [5] 東京アートサミット 2016

---

アジアパシフィックの画廊協会、アートフェア、アートメディアの代表を御招きし、それぞれの視点から、アートマーケットの様子や、相互協力関係について意見交換するミーティングを開催しました。

##### APAGA 「ASIA PACIFIC ART GALLERY ALLIANCE」 シンポジウム

台湾、韓国、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、日本の6つの国と地域の画廊協会の代表が集まり、各国の画廊協会の状況や施策や各国のアートフェアとの協力関係等を紹介し、充実した意見交換の場となりました。冒頭に、青柳前文化庁長官、全国美術商連合会浅木会長からメッセージを頂きました。

##### Asian Art Forum

昨年のキックオフミーティングに続き、今年第1回目のミーティングとして、北京、ソウル、台北、マカオ、東京からアートフェアの代表が一堂に会しました。各アートフェアの成り立ちと今後の方針、それぞれの国におけるアートフェアの特徴と効果、今後の協力・連携のシステムやメカニズムの構築、グローバルなアートマーケットに対して「アジアの尺度」というアジア独自の視点について意見を交換しました。

##### Art Media Meeting

ニューヨーク、北京、ソウル、台北、日本から9メディアの代表が集まり、各媒体を紹介。それぞれの立ち位置から、各国のアートマーケットや経済の状況、ブランディング、アートメディアによる盛り上げについて、日本や各地域のアートマーケットについて意見交換を行いました。

## [6] 東京アートウィーク 2016 参加プログラム

### シンポジウム 「芸術の向かう先」

林保太氏（文化庁長官官房政策課文化プログラム推進室室長補佐）は、国の文化政策の変遷や、現状改善のための課題について、森司氏（アーツカウンシル東京事業推進室事業調整課長）は、東京都内各所で展開されるアートプロジェクトの動向について、吉本光宏氏（ニッセイ基礎研究所研究理事）は、2012年ロンドン五輪の際の英国の文化政策事例を踏まえながら、国内の文化政策において想定される課題について、また椿昇氏（京都造形芸術大学美術工芸学科学科長）は、現場の視点から、文化の醸成から産業化への道筋などについて発表し、文化だけではなく住みよい環境づくりを目指すための課題や可能性について議論を交わしました。

## [7] ファッションブランドとのコラボレーション

中国ファッションブランド「レスアンドモア オーダーメイド洋服」とのコラボレーションを実施し、スタッフジャケット、シャツ、スカーフ、ピンバッジを共同開発。3月18日には、中国でプレイベントを開催し、世界第2位のアートマーケットである中国市場に向けたPRを行いました。



## [8] 広報の総括

今年も、メディアインタビューには多くの報道関係者の方々にご取材頂きました。

例年以上にテレビの取材が入り、一般会期の来場者の増加、並びに HP へのアクセス数の増加に繋がりました。

放送、掲載数：457 件（2016 年 5 月 25 日現在）

### 国内広報活動

民放 2 社によるテレビ放送に加えて、新聞の全国紙、地方紙での掲載、各専門誌、web 媒体で多数掲載していただきました。

#### 【TV/ラジオ/新聞】

テレビ東京、日本経済新聞、J-WAVE、フジテレビ、毎日新聞、朝日新聞、北日本新聞、十勝毎日新聞、公明新聞、 他

#### 【雑誌媒体】

アートコレクターズ、芸術新潮、美術手帖、春ぴあ、初夏ぴあ、Pen、Numero TOKYO、月刊ギャラリー、月刊美術、目の眼、炎芸術、美術屋・百兵衛、東京トレンドランキング、 他

#### 【web サイト】

朝日新聞デジタル、毎日新聞、銀座経済新聞、Yahoo!ニュース、エキサイトニュース、livedoor ニュース、Goo ニュース、Time Out、Pen online、R25、Fashionsnap、TOKYO HEADLINE、ENRICH、CINRA.NET、techne、Art Annual online、TOKYO ART BEAT 他

## 海外広報活動

中国を始め、昨年以上の海外メディアにお取り上げ頂き、アートフェア東京 2016 に関する情報を広く海外へ発信しました。来場した記者は SNS を通じていち早く情報を配信し、展示会現場で発信した報道記事は多数掲載されました。会期前プレビュー、会期中のリアルタイム報道、会期後のレビューを連続して情報発信しました。

### 【TV/ラジオ/新聞】

CRI (中国国際ラジオ)、中国青年報

### 【雑誌媒体】

ArtAsiaPacific、Art+ Magazine、Bazaar Art、LEAP、TANK Magazine、Chinese Contemporary Art News、Art Republik、Art in Culture、Art World、Aesthetica Magazine、Artco Monthly、Hi Art、The Japan Times

### 【web サイト】

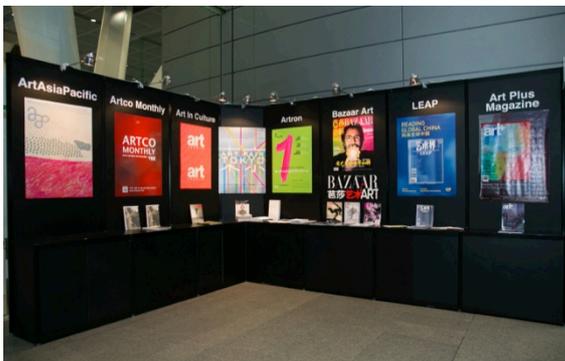
Art China、artnet、Artron、Artprice、Artfacts.net、Blouin Artinfo、The Artling

### 【国別】

中国 (香港、台湾を含む)、フィリピン、フランス、ドイツ、アメリカ、シンガポール、イギリス、韓国

## メディアブース

メディアブースをアクセスエリアに設けることで、今まで以上にお客様の目に触れるようになりました。国内海外ともにメディア毎に個別にブースを構え、また国内ブースに関しては、例年よりもブースが広くなり、ブース前のスペースも広く、来場するお客様とゆっくりお話することが出来るようになりました。



プレスリリース配信スケジュール／情報配信回数

- 2016.02.22 メインビジュアル・出展者決定！
- 2016.03.23 プログラム発表！
- 2016.04.12 出展ギャラリー一覧
- 2016.04.13 会場内フロアマップ公開！
- 2016.04.14 全プログラム発表
- 2016.04.29 ①APAGA(ASIA PACIFIC ART GALLERY ALLIANCE)シンポジウム
- 2016.04.29 ②Asian Art Forum
- 2016.04.29 ③Art Media Meeting
- 2016.04.29 開催まで、あと1週間となりました！
- 2016.05.16 閉幕のお知らせ

SNS 推移

